

## 「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	船橋市立芝山中学校 船橋市芝山1-40-11 電話047-464-3448
テーマ	児童・生徒のスマホ等の実態を把握するとともに、保護者・地域・学校が連携して、安全な使用について共通理解を深める
実施形態 実施主体	・芝山東小学校、芝山西小学校が合同で講演会・分科会も実施 ・芝山中学校職員が主体となり実施
日時 会場	平成30年11月19日（月）14:25～16:00 〔講演会〕芝山中学校 体育館 〔分科会〕被服室
日程 流れ・進行	14:15 保護者受付 14:25～ スマホ安全教室（講師 NTT DOCOMO） 15:15 保護者退場 15:20～ 教職員・地域・保護者による討議 15:45～ グループ発表（中学校職員） 16:00 閉会
参加者	教職員 10名（各校の校長及び生徒指導担当を含む） 保護者 80名 教育関係者 2名（市教委） 地域住民 18名（安全ボランティア） 合計 110名
広報	・保護者宛て通知 ・学校だよりに掲載し地域にも回覧 ・学校のHPに掲載 ・市の広報紙に掲載
内容	・講演「サイバー犯罪の状況と学校・家庭での対応について」 ・携帯電話の使用に関する現状と学校の指導について ・家庭での約束、子供たちの使用状況等について協議
保護者や地域 の方々の意見	・学区内で生活している小中学生に携帯電話は必要なのか。 ・親がしっかりとした知識を持って、使い方の指導を。 ・塾の帰りや公園などでメールをしている生徒を目にする。 ・高校生や大人など、年長者が小中学生の手に。 ・犯罪をおさえるのは、今も昔も地域の目である。
教職員の意見	・仲のよい友だちからさえチェーンメールが来る。 ・学校でも携帯電話について指導をするがまず家庭で。 ・学校の調査では小6で2割、中3で6割が所持している。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	・中学校区での支援本部で、防犯や安全に取り組んでいる。 ・携帯電話の所有率が年々上がり、トラブルの報告も多い。 ・近隣高校職員及び学区在住保護者の参加も呼びかけた。 ・携帯電話の危険性について保護者に理解を得た。 ・トラブルについては、学校間、保護者で情報を共有していく。

## 「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	八千代市立村上東中学校 八千代市村上1113-1 電話047-482-0932
テーマ	子どもたちを取り巻くインターネット環境 …安全に楽しく使うには？
実施形態 実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村上東小学校、村上北小学校との合同開催</li> <li>・講師とコーディネーターは八千代市少年自然の家所長が務め、講演とグループ討議</li> <li>・学校管理職・PTA 役員</li> </ul>
日時 会場	平成30年10月25日（木）15:00～16:00 村上東小学校 体育館
日程 流れ・進行	14:30 講師来校 14:50 体育館へ移動完了 15:00～ 1000か所ミニ集会 16:00～ 集会終了
参加者	学校評議員 学校職員 保護者 学校に関わる大学生 PTA 役員 地域の方 <div style="text-align: right;">合計 約110名</div>
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより、保護者向けお便り、地域・他校向けお便り</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがインターネットに関わる際に、大人が果たす役割はどうあるべきか。</li> </ul>
保護者や地域の方々の意見	(1回目の意見交換) <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもがスマホで何をしているのかがわからない。</li> <li>・子どもの人間関係がわからない。</li> </ul> (2回目の意見交換) <ul style="list-style-type: none"> <li>・水面下で悩んでいる子どもに気づけるようにしたい。</li> <li>・自分で判断できる力を育てることが大切と思った。</li> </ul>
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの所属や立場を超えて、インターネットの疑問や悩みについて話し合うことができてよかった。</li> </ul>
その他 (テーマの背景、学校の工夫、今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師との打合せの結果、スタートからグループごとに円陣形にしたとの説明があった。待ち時間からグループ内の交流が始まり、活発な意見交換に繋がる効果があったと思われる。</li> </ul>

## 「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	我孫子市立白山中学校 我孫子市白山3-7-3      電話04-7184-1893																
テーマ	「安心安全」「地域人材を生かす」「PTAの連携」等																
実施形態 実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白山中学区小中（我孫子第一小、我孫子第四小、白山中）合同開催</li> <li>・三校の教頭が中心となって企画し、当日のグループ討議についてはテーマを5つもうけ、教員が司会者となり実施した。</li> </ul>																
日時 会場	平成30年11月9日（金） 15:00～16:05 白山中学校 体育館																
日程 流れ・進行	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">校長挨拶</td> <td style="text-align: right;">15:00～15:04</td> </tr> <tr> <td>「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」の趣旨説明</td> <td style="text-align: right;">15:04～15:06</td> </tr> <tr> <td>白山中学校区のミニ集会の願い</td> <td style="text-align: right;">15:06～15:08</td> </tr> <tr> <td>グループ討議</td> <td style="text-align: right;">15:08～15:35</td> </tr> <tr> <td>各グループ発表</td> <td style="text-align: right;">15:35～15:45</td> </tr> <tr> <td>質疑応答</td> <td style="text-align: right;">15:45～15:55</td> </tr> <tr> <td>まとめの言葉</td> <td style="text-align: right;">15:55～16:00</td> </tr> </table>	校長挨拶	15:00～15:04	「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」の趣旨説明	15:04～15:06	白山中学校区のミニ集会の願い	15:06～15:08	グループ討議	15:08～15:35	各グループ発表	15:35～15:45	質疑応答	15:45～15:55	まとめの言葉	15:55～16:00		
校長挨拶	15:00～15:04																
「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」の趣旨説明	15:04～15:06																
白山中学校区のミニ集会の願い	15:06～15:08																
グループ討議	15:08～15:35																
各グループ発表	15:35～15:45																
質疑応答	15:45～15:55																
まとめの言葉	15:55～16:00																
参加者	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">教職員</td> <td style="width: 30%;">20名</td> <td style="width: 30%;">保護者</td> <td style="width: 10%;">7名</td> </tr> <tr> <td>教育関係者</td> <td>4名（県教委・市教委）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>44名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="text-align: right;">合計 75名</td> </tr> </table>	教職員	20名	保護者	7名	教育関係者	4名（県教委・市教委）			地域住民	44名						合計 75名
教職員	20名	保護者	7名														
教育関係者	4名（県教委・市教委）																
地域住民	44名																
			合計 75名														
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者宛て通知      ・学校便りに掲載し地域にも回覧</li> <li>・学校HPに掲載</li> </ul>																
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の安全パトロール（安心安全）について</li> <li>・地域人材を学校教育にどう生かすかについて</li> <li>・PTA同士の連携（おやじの会との連携）について</li> <li>・地域行事と学校教育について</li> <li>・携帯電話・スマホのルール作りについて</li> </ul>																
保護者や地域の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科の授業に地域の方が参加しているのは素晴らしい。この出会いから、通学路での挨拶がスムーズになる。続けてほしい。</li> <li>・地域のパトロールや見回り等の人材がいるので活用していくとよい。</li> <li>・災害時に学校が避難所となった場合、教員ではなく地域が支えるべきと考える。</li> <li>・中学生が、役割を持って地域行事に参加できるとよい。</li> <li>・スマホのルール作りは、学校と家庭が同じ歩調で指導していかななくてはならない。家庭の価値観も大事である。</li> </ul>																

<p>教職員の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、保護者や地域の方と歩調を合わせて下校指導をしていく。</li> <li>・学校として「何をさせていただきたいか」を明確にし、学校と地域をつなぐ手立てを考えていきたい。</li> <li>・白山中学区のおやじの会が発足した。合同の震災体験キャンプは有意義であった。</li> <li>・登下校の安全パトロールについて、多くのボランティアの方に協力をいただいている。我孫子警察地域課の方たちにも協力をいただいている。</li> <li>・いじめなどのトラブルの温床になる LINE の開示は、家庭の協力が必要である。</li> </ul>
<p>その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全指導時、挨拶運動や標語を使って指導をしている。</li> <li>・我孫子の歴史を学んで我孫子を好きになって欲しい。先人の知識を子どもたちに伝えていきたい。</li> <li>・PTA やおやじの会は、スポーツ行事やイベントに協力していく。</li> <li>・業務改善の流れから、地域行事への参加が少なくなった。再検討していく。</li> <li>・携帯電話・スマホのルール作りについては、学校と家庭との共通理解ができた。</li> </ul>

## 「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	陸沢町立陸沢中学校 長生郡陸沢町上市場1500 電話0475-44-0019
テーマ	子どもも大人も元気になる食生活のあり方について
実施形態 実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校主催（町教委支援）</li> <li>・生徒同席の講演と協議を実施</li> <li>・町活性化事業「魅力発信☆むつざわ未来ラボ」の一員が協力</li> </ul>
日時 会場	平成30年11月7日（水）13:30～15:00 陸沢中学校 体育館
日程 流れ・進行	講演会（生徒参加） 13:30～14:20 講師 五十嵐ゆかり（管理栄養士・料理研究家 ※卒業生） ミニ集会（生徒以外）14:20～15:00 保護者・地域の方々、講師の先生との協議
参加者	教職員 20名 保護者 6名 教育関係者 8名（町教委、町内こども園・小学校職員） 地域住民 12名 合計 46名
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者宛て通知</li> <li>・町の広報紙に掲載</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「夢を叶える方法と食事～小さなチャレンジの積み重ねで未来をつくる～」</li> <li>※キャリア教育に関する内容（現在の仕事に就くまでの苦労や仕事内容）と、食育（食生活改善に向けた具体策など）についての講義。</li> <li>・子どもを取り巻く食に関する課題について協議。</li> </ul>
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の先生への質問                ジャンクフードは食べてはいけないのか。                牛乳の適切な摂取量はどれくらいか。                濃い味から薄い味に移行するにはどうしたらよいか。等</li> <li>・子どもだけでなく、大人も食生活改善に心がけるべき。</li> <li>・自然環境や産業など、町の良さを生かしたい。</li> <li>・学校と家庭の連携は必要。地域もサポートできれば。</li> </ul>
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善は、学校だけでは難しいところもあるので、家庭の協力が不可欠。</li> <li>・地産地消の意識を高められる環境を子どもに作ってあげたい。</li> </ul>
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児生活習慣病や地産地消、農業問題など、食をめぐる様々な課題がある中、学校・保護者・地域の連携は大切である。</li> <li>・地域の方々から貴重な意見を聴くことができた。こうした取組の必要性も出されたので、今後も機会を設けていきたい。</li> </ul>